

事業シート（概要説明書）

| | | | | | | |
|-----------------|-----------------------|--|-------|-------|-------|-------|
| 事業名 | | 文化推進事業(ヴォーカルアンサンブル津山) | 担当部名 | 経済文化部 | | |
| | | | 担当課名 | 文化振興課 | | |
| 事業開始年度 | | 平成8年(1996)度 | | | | |
| 根拠法令等 | | 文化推進事業委託契約 | | | | |
| 実施方法 | | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先:(財)津山文化振興財団) <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的(何のために) | 平成8年(1996)の作陽音楽大学転出を契機に、地域の音楽文化のさらなる向上を目指し、高度な音楽レベルを持ったプロの合唱団として発足。優れた音楽文化の鑑賞機会の提供や担い手の育成などの活動を行う。(団員数28名) | | | | |
| | 対象(誰・何を対象に) | 市内外の住民、学校、団体など | | | | |
| | 事業内容(手段、手法など) | <ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会(年1回) ・定期練習会(毎月第3水曜日 18:00~20:00)(公開) ・小中学校の音楽講座、公演、福祉施設などの慰問公演 ・市、各種団体などからの依頼公演 ・市民総合音楽祭、国際総合音楽祭への出演 ・その他(校歌のCD録音など) | | | | |
| | 事業の必要性 | <p>本市では、「津山交響楽団」、「津山第九を歌う会」などの音楽団体や中学校・高等学校の吹奏楽部、合唱部などが活発に活動を行っている。これらの音楽活動を促進し振興を図るためには、優れた音楽の鑑賞機会の提供や人材の育成支援が重要である。</p> <p>また、第8回津山国際総合音楽祭の開催にあたり、プログラムの編成上、合唱部門の中心となる。</p> | | | | |
| | | H19決算 | H20決算 | H21決算 | H22予算 | |
| 事業費(直接経費) | | 千円 | 6,315 | 5,743 | 5,280 | 5,280 |
| うち | 嘱託職員・臨時職員等 | 従事者数 | 人 | | | |
| | | 概算人件費 | 千円 | | | |
| 人件費 | 正規職員 (平均給与750万円換算) | 従事者数 | 人 | | | |
| | | 概算人件費 | 千円 | | | |
| 総事業費 | | 千円 | 6,315 | 5,743 | 5,280 | 5,280 |
| 【収入】 | | H19決算 | H20決算 | H21決算 | H22予算 | |
| 国・県からの補助金等 | | 千円 | | | | |
| 使用料・手数料 | | 千円 | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | |
| その他() | | 千円 | | | | |
| 【収支】市の負担額(一般財源) | | 千円 | 6,315 | 5,743 | 5,280 | 5,280 |

| 事業シート（概要説明書） | | | | | |
|---------------------------------|--|---|-------|-------|-------|
| 平成22年度 事業費内訳 | 内 容 | | | 金 額 | |
| | ヴォーカルアンサンブル津山運営事業委託料 | | | 5,280 | 千円 |
| | ----- | | | | 千円 |
| | ----- | | | | 千円 |
| 事業目的達成の ための活動指標 | 活動指標名 | 単位 | H20年度 | H21年度 | H22年度 |
| | 定期公演等の観客数 | 人 | 2,200 | 1,500 | 2,400 |
| | 公演会活動、地域活動 | 回 | 6 | 6 | 9 |
| 単位当たりコスト | H20…(事業費)5,743千円÷(参加者数)2,200人≒2,610円 【市委託料ベース】 H21…(事業費)5,280千円÷(参加者数)1,500人≒3,520円 【市委託料ベース】 H22…(事業費)5,280千円÷(参加者数)2,400人≒2,200円 【市委託料ベース】 | | | | |
| 目指す成果 (今後どのように したいか) | <ul style="list-style-type: none"> ・小編成の活動により、機動性を高め、市民への認知度アップを図る。 ・市内外の文化ホールとの地域協働公演、依頼公演への積極的な出演により、地域や団体とのつながりを強める。 ・年間を通じてミニコンサートやワークショップ、ミニオペラなどの自主事業を開催し、舞台芸術を身近に感じ、親しめるよう努める。 | | | | |
| 事業の 自己評価 | 事業目的の 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会のPRに努め、観客が増加した。 ・他の市民音楽団体との共演など活動の幅を広げている。 ・定期演奏会ごとに実施するアンケートや有識者から好評価を得ている。(また、問題点は今後の活動に反映させるよう努めている。) | | | |
| | 今後の事業 の方向性 (課題・改善 計画等) | <ul style="list-style-type: none"> ・優れた音楽レベルを持ったプロ合唱団として、市民に質の高い音楽を提供する環境づくりを目的に活動を続ける。 ・より市民ニーズに応じた鑑賞・交流活動となるよう指導する。 ・小中学校の音楽授業への参加指導や公演、福祉施設、病院、幼稚園などを対象にした事業展開に努める。 ・他団体との共催事業の手法により、経費の削減を行う。 ・広報、宣伝について実効性のある方策を研究する。 | | | |
| 比較参考値 (他自治体における 類似事業の例など) | 【神戸市混声合唱団】 運営：(財)神戸市演奏協会 設立：H元年(1989)神戸市民文化振興財団により設立(神戸市100%出資) 構成：指揮者1名、副指揮者1名、コンサートマスター1名、団員44名 活動：定期演奏会、神戸市を中心にした公演活動、定期練習会など。 予算規模：102,000千円 | | | | |
| 特記事項 (事業の沿革等) | 【ヴォーカルアンサンブル津山を育てる会】 市民・団体の有志により、結成 <ul style="list-style-type: none"> ・法人会員(1口 10,000円/年) ・個人会員(1口 3,000円/年) | | | | |